

5月19日、「保険でよい歯科医療を」全国連絡会が政党要請を実施

(文責：事務局)

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、5月19日、今夏実施予定の参議院選挙において、「保険でよい歯科医療」の実現のための政策を各党のマニフェストに掲げていただくよう、各政党への要請・懇談を行った。

全国連絡会からは、雨松真希人、宇佐美宏、江原雅博各代表世話人、岩下明夫世話人、永松玲・大阪連絡会事務局などが参加しました。

★10:00～ 日本共産党（議員室）

対応者：藤野保史政策委員長、衆議院議員。

国は社会保障費は出していると言っているが、OECD諸国の中で17位/34か国と低い。まだまだ少ないと感じている。税金の使い方には改善の余地がある。歯科の問題も反映させていきたい。



★11:00～ 民進党（党本部にて）

対応者：田鹿文隆（党団体交流委員会部長）、清水恵美子（同副部長）。

政策は、旧民主党時代と余り変わっていない。歯科技工士の勤務はなぜこんなに過酷な状況になっているのか？人数が足りていないのか？社会保障、医療、介護も充実させる方向で検討している。

旧民主、旧維新の2党でまとめた基本政策で引き続き取り組んでいくが、歯科の課題を個別で政策に入れるのは難しいが、何らかの形で検討したい。請願署名の引き受けは個々に任せている。



※12:00～13:00 全国保険医団体連合会主催の「ストップ！患者負担増」署名提出集会に参加（全体で150名）



★14:45～ 社会民主党(福島瑞穂参院議員室)

対応者：小林わかば（政策審議会事務局次長）、中島浩（福島瑞穂参院議員政策秘書）。

口腔ケア・口の健康については把握している。歯科技工士の長時間労働は異常だ。こういった過酷な労働環境については改善していかなければならないと感じている。子どもの貧困に関して、健康を守るためにも、口の問題は大切。



★15:15～ 生活の党と山本太郎となかまたち

対応者：玉城デニー生活の党幹事長、衆議院議員。

民主党時代は、不十分だが、診療報酬を引き上げてきた。噛んで食べることはとても楽しいこと。口に関する健康の重要性は理解している。東日本大震災の時に特に高齢者の誤嚥性肺炎が多かったことで口腔ケアの必要性は承知している。沖縄の地元の知人に歯科医師、歯科技工士がおり、労働時間などの過酷さは承知している。どこかで好転させなければ負のスパイラルが続いてしまうだろう。高齢者の8020運動や、子どもを歯科に通わせる国からの経済的支援も必要である。真剣に受け止めるべき問題だ。



※その他、自民党、公明党にも面談を申し入れていましたが、自民党からは今回は面談できないとの連絡がありました。公明党は、政務調査会厚生労働部会宛に懇談依頼を提出し、何度か連絡をしましたが、その都度「調整中です。折り返し連絡します」とのことでしたが、面談には至りませんでした。